

平成 28 年度 生涯学習・社会教育関係職員研修講座

「地区研修(下北地区)」

平成28年5月24日(火) 会場名:むつ合同庁舎 旧館3階 大会議室

生涯学習・社会教育関係職員研修講座「地区研修(下北地区)」が、5月24日(火)むつ合同庁舎において受講者18名で実施されました。

この研修は、県内6地区の地域課題の把握に努め、各地区のネットワーク形成及び課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人材育成を目的とした研修を実施することとしています。

下北地区では、『管内生涯学習・社会教育関係職員研修講座』として開催しました。

今年度は、(有)百歳の青春 代表取締役 松野 ミツ 氏 と、つるた街プロジェクト 代表 岡 詩子 氏 のお二人を講師にお招きし、午前と午後に分け、それぞれ豊富な経験と実践に基づいた御講演をいただきました。

1. 講演①:【テーマ】家庭・地域の教育力向上 「運の良い子どもの人生は 今日の親心で決まる」

午前は、(有)百歳の青春 代表取締役を務める松野氏に御講演いただきました。ご自分の生き立ちを交えながら、豊富な経験に加え、たくさんの人との出会いや様々な実践を通して、親や地域の大人として備えておきたい心構えや意識改革についてお話しくささいました。副題に「こどもは親の心を実演する名優である」というフレーズを加えてのお話は、親や大人の振る舞いを見て子どもたちは学び育つということを含んでいました。

特に、長野県下の校長・市教育長を歴任した大塚氏の、授業の改革・給食の改善・花壇づくりの取組が非行やいじめ、不登校を激減させ、“心の充実”や学力向上へと導き、「子どもが悪いのではない。家庭・学校・大人がそのように育ててしまったのだ。」という実践例に、受講者の誰もが真剣に聞き入っていました。

【講義の様子①】



【講義の様子②】



【概要】

- 教育とは …「常に子どものため」 ・一人一人の芽を育てる ・リーダーを育てる ・トップの決断が重要
- いじめ問題 …「正しいと思うことに邁進する」 ～ 長野県:大塚氏の事例から
- 親(上司)の心得 …「志を高く」 ・マナー力をアップ ～ “正しい手締め”や“鈴の音県民運動”等
→ 人の振る舞いから、奥行きが出る
- ふるさとの偉人から学ぶ …「郷土愛」 ・誇りに思うこと ・親を大切に思うこと
- シンデレラの法則 …「時間を守る」と「トイレ掃除」 ・周りの人が幸せになったら心から喜ぶ
- 大人物になるには …「えらいと思わない」 ・『けがづの子』や教訓から

2. 講演②：【テーマ】地域コミュニティの活性化 「好きの力で先に進める つるた街プロジェクト」

午後は、つるた街プロジェクト 代表 岡氏に御講義いただきました。『好きの力』をキーワードにしたお話の根本には、もっと楽しく住みよいまちにするため、“つづける・つなげる”という明確な理念が示されていました。

岡氏御本人は、精神対話士の資格を持ち、傾聴の専門家であるとともに、色彩コーディネーターの有資格者でもあることから、つるた街プロジェクトの活動にも様々なかたちでその技術が取り入れられており、特にインターネットを介した情報発信やフリーペーパーの発行にもそのノウハウが盛り込まれていました。

鶴田を“好きすぎる”メンバーとともに「ゆるく長く続けること」、そして、次世代につなげるために30年はこの活動を続けて「前例をつくる！」という強い使命感を持って取り組んでいることもお話いただきました。

【講演の様子①】



【講演の様子②】



【概要】

- 鶴田町 … アメリカオレゴン州フードリバー市と姉妹都市でもあることから ～
 “楽しい町民の、楽しい町民による、楽しくでもちょっと真面目な町活性化プロジェクト”
 → セミナーの実施 ・自分たちが**もっと楽しく住みよいまち**に
 町内のいたる所に鶴をデザインした物がある。*毎朝写真を加えて発信
- つるた街プロジェクト … 田舎と都会の違いは何だろう？人口数!? だったらインターネットを使って世界へ
 Facebook の活用（クラウドファンディングの活用も）※「SNS 活用セミナー」
- “ゆるく長く続けること” … ・仕事や用事優先
 ・やりたい、できる人ができることをできるタイミングで
 ・「いつでもやめられる」という意識で
- “30年後の子どもたち” … ・好きな鶴田で生きていきたいと思ってくれる町に
- “好きなことしか続かない” … 前例をつくるのが役目

3. 受講者の感想

- ・自然体で「楽しみながらまちづくり」。とらわれない自由な発想が素晴らしいと思いました。
- ・実践事例、特に女性の発表を聞くことができよかったです。
- ・大変感銘を受けた。私も地元が好きで会社を辞めて戻った身なので、今回の講義を機に「好き」をもっと前へ出していこうと感じた。
- ・ピンチはチャンス。ピンチを乗り越えれば成長できると思った。
- ・「好きなことしか続かない。」なかなか口に出せない思いを取組にのせながら講演して頂き、スッキリした。気持ち軽くなりました。
- ・人材育成やまちづくりの手法を次の世代に伝え、リーダー育成を目的に日々努力しているが、数多くの手法によって幅広く伝え、残したいという思いで頑張っている。